



なんだろう なんだろう 自分で考える

(冬季休業前後の全校集会より)

校長 大平 淳一

ある本の紹介をします。ヨシタケシンスケさんの『なんだろう なんだろう』です。

「なんだろう なんだろう 『夢』ってなんだろう。『夢』って、この先、自分が何をやりたいかってこと？」といった問いかけと、その答えを考えるためのヒントがたくさん示された絵本です。

この本の中に、以下のような一節があります。

「たしかに考えるのってつかれちゃうし、めんどくさい。」

「でも、いつかどこかで自分で考えて自分で決めなければいけないときもやってくる。」

「『今からマラソンを走ってください』っていわれても、そんなたくさん走れないのよね。でも、マラソン選手は毎日走っているから長い距離を走ることができる。それと同じで『考えること』も脳みそを使った運動だから、ちょっとずつ練習をしないとすぐには上手に考えられないはずなのよ。」

「それに、自分でアレコレ考えながらつくったしあわせは、すごく長持ちすると思う。そして、自分をしあわせにすることができれば、人のこともしあわせにできるんじゃないかしら。」

「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。新しい1年の目標を、自分自身でしっかりと考えて設定し、今後の活動につなげていってほしいと思います。自分自身で様々考えながら設定した目標は、現在の学校生活や未来の進路についても左右する重要なものになると考えるからです。そして、それぞれ目標に向かって行動し、**自分の考える夢を実現すること**に繋げていってください。

令和8年の私の目標を敢えて漢字1字にすると「高」。全員の生徒が「学校生活が楽しい」と言えるように、生徒の皆さん、先生方と協力しながら、「さらなる高み」を目指して充実した学校生活を送れるようにしていきたいと思います。

重川新生徒会長は「新」。「新」生徒会として、よりよい学校にするため生徒全員で進んでいきたいとのことです。澤井新副会長は、「努」。生徒会活動の成功。小さな成功を積み上げることに「努」めていきたいと言っていました。

学校や社会の中で生活しているわけですから、一人一人の目標は、**多くの生徒や人々が目指す共通の目標や夢、幸せにもつながってくると考えます**。西川中学校の生徒の一人、地域社会の一員として、よりよい学校や社会に貢献するといった「志」をもって、令和8年をよりよい1年にしていきたいと思います。

全校生徒で制作した50周年記念モザイクアート



生徒総会

先日、生徒総会が行われました。1年間の生徒会活動の締めくくりとして、これまでの取組を振り返る大切な時間となりました。生徒会スローガン「継 さらなる高みへ」に込められた、よき伝統を大切に受け継ぎながら、新たな工夫を重ねて前へ進もうとする姿勢が、役員の説明や各学級からの発言の随所に表れていました。仲間の声に真摯に耳を傾け、自分たちの学校をより良くしようとする姿から、この1年の確かな成長が感じられる生徒総会でした。



薬物乱用防止教室

中学2・3年生を対象に、薬剤師の笛木 司 様を講師にお迎えし、薬物乱用防止教室を実施しました。講演では、薬物乱用の定義をはじめ、身体だけでなく心にも深刻な影響を及ぼすこと、さらに一人の問題にとどまらず、家族の崩壊や犯罪につながる危険性があることを、最新のデータや科学的根拠を基に分かりやすく教えていただきました。薬物の恐ろしさは十分に伝わったと思います。一方で、人は心が弱った時やつらい時、その隙につけ込まれることがあるため、悩みを一人で抱え込まず、信頼できる人に相談することの大切さも学びました。生徒は終始真剣に話を聞き、薬物問題を自分事として捉える様子が見られました。



創立50周年事業ご報告

創立記念事業へのご支援、誠にありがとうございます。この度、生徒玄関のマットを全面リニューアルいたしました。長年使用してきた絨毯敷きでしたが、機能性を備えたマットレスへと生まれ変わりました。

